



## ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度  
国際ロータリーのテーマ  
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

# 留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから  
出会いを創造し活性しよう

## プログラム

- 本日  
「地域の安心・安全について」  
留萌警察署 生活安全課長  
葛原 義雅 様
- 次週予定  
「我が生い立ち②」  
奥 俊信 君

ご夫人誕生日  
10月3日 ニノ宮恵美子

結婚記念日

10月3日	吉田 清治
10月3日	越野 俊興
10月3日	渡部 英次
10月3日	川上 明弘
10月4日	対馬 健一
10月8日	河部 勲

No. 2298  
第13回 10月3日



前例会

会員総数……………51名  
出免会員……………5名  
欠席会員……………12名  
出席率……………73.91%

前々会

第10回 9月12日  
欠席会員……………15名  
メイクアップ……………4名  
修正出席率……………76.09%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

## 会長報告……………

- 9月20日、留萌ライオンズクラブの創立48周年記念式典に出席して参りました。
- 「世界の絵本展」留萌実行委員会よりオープニングセレモニーの招待状が届いております。
- 韓国論山クラブより創立40周年・姉妹血縁35周年記念式典の案内を頂きました。2008年3月22日に開催予定で、ご来訪をお待ちしているとの事です。

幹事まで。

- 2) 本日ロータリーの友10月号が届きましたので、皆様に配布いたします。
- 3) 先日皆様にFAXにてお知らせいたしましたが、ニノ宮会員のお母様をご逝去されました。本日お通夜(午後6時30分) 明日告別式(午前10時) にしきどう市民斎場で行なわれます。

ゲスト 北の食彩研究会 会長 田中 浩二様  
前会長 富田 直樹様

## 幹事報告……………

- 1) 国際ロータリーより2008年国際ロータリー年次大会の案内が来ておりますので、回覧いたします。6月15日より18日まで、米国口サンゼルスにて開催されます。参加希望者は

## 委員会報告……………

前年度幹事 対馬会員  
前年度の報告書を作成いたしますので、10月中旬位までに委員会、愛好会の報告を提出して

下さい。なお、提出されない委員会・愛好会がございましたら、その部分が空白になるか、こちらの方で勝手に書かせていただきますので、ご了承ください。

 3分間情報 .....

会員研修委員会 澤田委員長  
「米山月間」

日本ロータリーの創始者、米山梅吉が1946年(昭和21年)4月28日没せられ、東京RCが1953年(昭和28年)米山梅吉が生前東南アジアからの私費留学生へ援助を与えていた事を記念して、米山基金として発足させた。

後に全国のRCの支持を得て、米山記念奨学会へと発展させた。現在はアジアのRCの所在国又は地域ばかりではなく、全世界からの私費留学生にも支給している、日本ロータリー独自の奨学事業である。奨学金の支給、奨学生に対するカウンセリング、医療費補助、学会出席の旅費支給を事業内容としています。

< 寄付の種類 >

寄付金には、普通寄付金と特別寄付金の2種類がある。

- (1) 普通寄付金は全ロータリークラブ会員からの定期寄付金。寄付行為・寄付金受領に関する施行細則に基づき、クラブで決定した金額の会員分が半期に一度、クラブを通じて納入される。
- (2) 特別寄付金は個人、法人またはロータリークラブから普通寄付金以外に寄付されるもので額も時期も問わない。この特別寄付に対しては免税優遇措置が受けられる。

この特別寄付金はロータリークラブ以外の個人、法人、団体からも受ける事が出来る。

< 表彰制度 > (2007年7月改訂)

- (3) 準米山功労者  
個人の特別寄付金の累計額が3万円に達した方。(感謝状・表彰品なし)
- (2) 米山功労者  
個人の特別寄付金額が10万円に達した時、または一度に10万円もしくはそれ以上の特別

寄付をされた時、第1回米山功労者として感謝状が贈られる。累計20万円で、第2回米山功労者マルチプルとなり、感謝状が贈られる。以降10万円ごとに感謝状(累計ごとに色分け)が贈られる。累計100万円で、第10回米山功労者メジャードナーとなり、感謝状とピンバッジが贈られる。なお、これらの感謝状・表彰品は辞退も可能。

- (3) 準米山功労法人  
法人としての寄付が累計5万円以上50万円未満の法人。(表彰なし)
- (4) 米山功労法人  
法人が累計50万円に達した時、感謝状が贈られる。この場合、個人と重複して米山功労者の表彰はない。
- (5) 米山特別功労法人  
法人からの特別寄付金累計額が100万円に達した時、または一度に100万円もしくはそれ以上の時表彰され、盾または感謝状が贈られる。以降100万円ごとに同様に表彰される。
- (6) 米山功労クラブ  
クラブの特別寄付金の累計額が100万円に達した時、感謝状が贈られる。  
クラブの特別寄付金額には個人の寄付金額も集計される。第2回目からは100万円ごとに同様に表彰される。
- (7) 達成クラブ  
普通寄付金と特別寄付金の合計額が1000万円に達した時には、感謝状が贈られる。以降、1000万円増額達成ごとに同様に表彰される。

 ニコニコBOX .....

- ・麻雀大会しばらくぶりで出席、実力通り優勝しました 山本幹事
- ・麻雀大会1位 越野会員
- ・麻雀大会ドタキャンしてしまいました 佐藤(寛)会員

前 回	308,000円
今 回	5,000円
累 計	313,000円

## 📖 プログラム……………

「地域の魅力をカタチに～酒蔵ラーメン」

北の食彩研究会 前会長 富田 直樹 様

本日留萌ロータリークラブの例会に御招き頂き、誠にありがとうございます。タイトルが地域の魅力をカタチにというテ-



マですが、本日皆様に食べていただいた酒蔵ラーメンがどの様な経緯で現在に至ったかをお話させていただきます。

会長も間違えましたが、当初は夢蔵ラーメンと言う事で限定販売を致しました。酒かすとみそが合うとの事で、みそ味4食入り1050円で販売をいたしました。J C卒業後の活動で、増毛と留萌が手を組めないかと考え出したもので、J C時代私が理事長をやっていた時、当時合併の話合いが若者間で持たれましたが、みんなあっちを向いてしまい、3年間でやっとテーブルについた経緯があります。増毛と留萌で共通の価値観を持ってないかも考えていました。例えば、観光面では増毛・留萌・小平の広域観光マップ等で、私がよく仕事で行く富良野では美瑛・南富良野・上富良野など共通の広域マップがあります。また、私はおみやげ屋萌にもかかわっていますが、留萌管内を代表するおみやげが出来ないか、値段は1000円位で、と考えたこともありました。支庁長がかわるたびに、食による地域振興などが啓発されますが、今年はタコ箱でしたが、ほとんどが単年度で終わってしまいます。富良野のJ Cの昔の仲間とよく観光談義をしますが、留萌は海にも恵まれ、食にも恵まれているのに、なぜ留萌の良さを出前出来ないのか、と言われた事があります。留萌をもっと知らせるために出向けと言うのです。そこで、J Cと観光協会とが組んで熊本の子供達をもてなすイベントを開催しました。単にホタテを焼いてしょうゆを掛けただけですが、非常に喜ばれまして、こんなの初めてと言われたことが非

常に耳に残っております。

話を戻しますが、このラーメンの開発は私自身麺類が大好きで、ラーメン・そば・パスタなど何でも好きなのですが、仕事の出張などでは良く食べます。その中で、このスープにあの麺を入れると美味しいとか、この麺にあのスープのほうがもっと美味しいなどと考える事がよくありました。一番大きなきっかけと言えば、西山支庁長が留萌にいた時で、食の部分で仕掛けてくれと言われた事です。またポートフェスタのイベントで日通さんの倉庫を借りて夢の蔵という事業をやった事も大きなきっかけとなっています。これはローソクを並べて留萌の未来を創造するというスペースを作った事業で、非常に満足する事業だったものですから、このイベントを象徴する蔵のイメージする物を残したいということで、最初の夢蔵ラーメンのパッケージになっています。

このポートフェスタで国稀の林社長とお会いする事ができ、道北を代表する何かが出来ないかと言われて考えたのが、酒かすを使ったラーメンの考案です。お酒と言えばソバですが、今そこにいる田中君とだったんソバをやってみようと思砂の奥まで入りましたが、もしかしてと思い、ダイオキシン検査をしてみると全然ダメでした。これには30万円もかかり大変でした。暑寒ソバの次を狙ったのですが、脆くも敗れさりました。結局ラーメンになったのは、田中君が三嶋屋さんに務めており、10数年前に流行ったオロロンラーメンの企画に携わっていた経緯があったからです。初めこのラーメンの話に国稀さんはあまり良い顔はしませんでした。私も一人では出来ませんので、当時のJ Cの仲間の応援をいただき、地方のJ Cの方々にはPRをお願いし、25名のメンバーで当りました。スープは田中君が主体となっていただきました。麺はチチレめん、中太麺でいくと決まっていたのでそれほど時間は掛りませんでしたが、スープに試行錯誤致しました。留萌にスープを作っている処がありませんでしたので、三嶋屋さんの紹介で銭函にある会社を紹介して頂きました。酒かすとレシピを送ってブレンドしてもらい、

## 第12回 9月26日(水) 天候/晴

計6回のスープのやり取りをし、時間をかけました。千歳鶴に同じような商品があり参考にし、酒かすの配合量を検討しました。その製品の酒かすの配合量は5%で、お酒を入れて風味を出していましたが、私たちはあくまで酒かすにこだわり、20%に決定しました。みそも赤みそにするのか白みそかも悩み、赤みその重厚感で行こうと考えましたが、結局相性で白みそに決まりました。その間、締りが無いとの事で一味を入れてラー油のようなピリツとしたものが出来上がりました。昨年春から販売を開始しましたがその後、PRに力を入れまして、1週間に1回はメディアに出るように考えました。やはり日経新聞の全国版に出た事が一番大きく、商売なさっている方から声掛けがあり、今の通販にも繋がっていると思います。勿論、日刊や道新、STVラジオやHBCラジオ等のインタビューなどに力をいれています。またジャランなどの観光誌に出させていただき、試食会なども意識的に変わった所でやろうと言う事で、オープニングもそうでしたが、普段出来ないところで、国稀の倉庫や留萌支庁の庁舎、福祉施設で行なうなど、とにかく話題づくりに没頭しました。限定販売として数に限りがあることとし、しかも低価格ということにしました。行政の開催するセミナーや地場産の催し物などにパネラーやゲストとして参加させていただき、ピアパーティーやゴルフコンペの景品として使っていたくよう、常に話題になるように働きかけました。

これらラーメンの苦労した所は、初め酒かすの確保が出来なかった事です。私は、酒粕は国稀さんに行けば何ぼでもあるものだと思っておりましたが、国稀の酒粕は全道的にも人気があり、つけものや水産加工商品にも使われています。私が小売しているものを見て、有るではないかと言いますと、あなたたちが買うのはトン単位だと言われ、1年目は、私自身100円ショップへ行き、酒粕を買い占めておりましたが、次の年2006年度には優先的に酒粕を回していただけるようになり、現在は約2.5トン弱をお願いしています。ラーメン自体の苦労としては、

今も続いておりますが、スープ代が非常に高いと言う事。これは国稀さんから銭函まで酒粕を送り、それをまた送り返してもらって作業料と手数料が非常に高い。またスープと麺を箱に入れて販売しますが、箱代が非常に高いことです。これは良く食べる方からの提案で、生協さんなどで売っている、パケットレイを使うことで、何とか地域に根付かせるということから、2食パック525円という低価格を出しました。しかし、利益率が低いのが問題で、高くする訳にはいかず、その分多く売ろうと考えルート拡大を計りました。現在もそうですが、内地からの商談は大変嬉しいのですが送料倒れになってしまい、12セット1梱包で送りますが、昨年の東京でのどさんこプラザに送った時、1個あたり、20円しか儲かりませんでした。まあまとめて注文をいただければ何とかなりますので、多くの注文を期待しています。

終わりになりますが、この酒蔵ラーメンにはこだわりを持っており、仲間みんなが納得しないと進まないようにしようと思っております。妥協はしないように思っております。万人に受けるラーメンを作ることは今の時代簡単だと思います。17~8円のうまみ成分の入った小袋を入れる事で全然違います。しかし、我々はあえて酒粕の味とみそのマッチングで攻めると言う事を、1つのスープの袋で攻めるこだわりを持ち続け、頑張っていきたいと思っております。今年からバージョンアップして増毛の水を使用しています。今年から全国レベルにするため、ジャランさんの教で道産小麦を使用しています。昨年は900万円の売上で、今年は1400万円位の計画です。みそ、しお、と販売しましたので、来年はしょうゆを開発し、販売ルートの拡大を計ってまいります。室蘭ではカレーラーメンなども出ています。今後全道のイベントに声を掛けていただいておりますので、それらも利用して道北の一品として定着するよう頑張ります。皆様のご支援宜しくお願いします。

(次週につづく)